

令和3年度当初予算要求のポイント

I 新型コロナウイルス感染症による影響や、ゼロカーボン達成を見据えた木材生産量の増加と県産材需要の拡大

- (拡) ・信州の森林づくり事業（再造林支援分）
 森林情報のデジタル化に取り組む林業事業者等が実施する再造林に対し、補助率を嵩上げします。(70%→85%) (予算要求額)
 (48,600 千円)
- (拡) ・地消地産による木の香る暮らしづくり事業（木づかい空間整備事業）
 オフィスや店舗等におけるモデル的な内装木質化の整備を推進します。 (49,350 千円)
- (拡) ・森林病虫害被害枯損木利活用事業
 病虫害被害による枯損木を、木質バイオマス発電用の燃料等として利活用する取組を支援します。 (100,000 千円)
- (拡) ・林業大学校教育環境整備事業
 改築中の男子寮に木材チップを燃料源としたボイラー等を導入します。 (78,118 千円)

II デジタル技術を活用した林業の低コスト化などによる主伐・再造林の推進

- (新) ・持続型捕獲モデル実証事業
 デジタル技術を活用して再造林の支障となるニホンジカの捕獲を推進し、その後のジビエ利用を含めたモデル的な取組を支援します。 (55,000 千円)
- (拡) ・スマート林業構築普及事業
 ICT 技術を活用して林業の低コスト化を図る事業体を支援します。 (15,500 千円)

III 多様な林業の担い手確保・育成

- (拡) ・森林整備担い手育成確保総合対策事業
 林業分野への中途採用者を対象として、林業就業定着に必要な知識・技術の研修等を実施します。 (8,341 千円)
- (拡) ・持続的な林業経営の確立支援事業
 安全訓練施設やリモート研修体制の環境整備等により、林業事業体の育成を推進します。 (21,888 千円)
- (新) ・「Go To フォレスト」みどりの学習旅行推進プロジェクト事業
 都市部の中学校、高校へ「みどりの学習旅行」を提案します。 (1,189 千円)

IV 激甚化する災害を踏まえた、効果的な防災・減災対策

- (新) ・ICT 技術導入実証治山事業 及び 流域保全型総合対策治山事業
 リモート技術やドローン等の ICT 技術を活用して治山事業の効率化を図る他、河川上流の危険箇所を抽出し、災害予防措置を総合的に実施します。 (400,000 千円)
- (新) ・防災・減災対策緊急治山事業
 森林税を活用し、災害発生時の応急対応工事や森林整備を実施します。 (35,500 千円)

V 今後の森林・林業の大きな方向性の検討

- (新) ・森林（もり）の未来図作成事業
 アフターコロナを踏まえた、未来の森林の姿を検討します。 (1,000 千円)